

Q0001

アルゴリズム・データ構造

タグ：スタック

用語：スタックの確認ポイント1：後に入れた要素を先に取り出すLIFOのデータ構造

次の説明に最も合う用語はどれか。後に入れた要素を先に取り出すLIFOのデータ構造

- A. 配列
- B. 二分木
- C. スタック
- D. 動的計画法

答え・解説

Q0001 正答：C. スタック

解説：スタックは、後に入れた要素を先に取り出すLIFOのデータ構造。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0002

アルゴリズム・データ構造

タグ：スタック

用語：スタックの確認ポイント2：後に入れた要素を先に取り出すLIFOのデータ構造

スタックの説明として最も適切なものはどれか。

- A. 同じ型の要素を連続した添字で管理するデータ構造
- B. 各節が最大二つの子を持つ木構造
- C. 部分問題の結果を保存して重複計算を避ける方法
- D. 後に入れた要素を先に取り出すLIFOのデータ構造

答え・解説

Q0002 正答：D. 後に入れた要素を先に取り出すLIFOのデータ構造

解説：スタックの要点は「後に入れた要素を先に取り出すLIFOのデータ構造」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0003

アルゴリズム・データ構造

タグ：スタック

用語：スタックの確認ポイント3：後に入れた要素を先に取り出すLIFOのデータ構造

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「スタック」である。

- A. スタック：後に入れた要素を先に取り出すLIFOのデータ構造
- B. 配列：後に入れた要素を先に取り出すLIFOのデータ構造
- C. 二分木：後に入れた要素を先に取り出すLIFOのデータ構造
- D. 動的計画法：後に入れた要素を先に取り出すLIFOのデータ構造

答え・解説

Q0003 正答：A. スタック：後に入れた要素を先に取り出すLIFOのデータ構造

解説：正しい組合せは「スタック：後に入れた要素を先に取り出すLIFOのデータ構造」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0004

アルゴリズム・データ構造

タグ：スタック

用語：スタックの確認ポイント4：後に入れた要素を先に取り出すLIFOのデータ構造

「スタック」は、後に入れた要素を先に取り出すLIFOのデータ構造。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0004 正答：○

解説：正しい。スタックは後に入れた要素を先に取り出すLIFOのデータ構造。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0005

アルゴリズム・データ構造

タグ：スタック

用語：スタックの確認ポイント5：後に入れた要素を先に取り出すLIFOのデータ構造

組織が「後に入れた要素を先に取り出すLIFOのデータ構造」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. 配列
- B. 二分木
- C. スタック
- D. 動的計画法

答え・解説

Q0005 正答：C. スタック

解説：この目的に対応するのはスタックである。後に入れた要素を先に取り出すLIFOのデータ構造という機能・考え方を持つためである。

Q0006

アルゴリズム・データ構造

タグ：スタック

用語：スタックの確認ポイント6：後に入れた要素を先に取り出すLIFOのデータ構造

「スタック」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 部分問題の結果を保存して重複計算を避ける方法
- B. 各節が最大二つの子を持つ木構造
- C. 同じ型の要素を連続した添字で管理するデータ構造
- D. 後に入れた要素を先に取り出すLIFOのデータ構造

答え・解説

Q0006 正答：D. 後に入れた要素を先に取り出すLIFOのデータ構造

解説：スタックは後に入れた要素を先に取り出すLIFOのデータ構造。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0007

アルゴリズム・データ構造

タグ：スタック

用語：スタックの確認ポイント7：後に入れた要素を先に取り出すLIFOのデータ構造

「スタック」は、同じ型の要素を連続した添字で管理するデータ構造。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0007 正答：×

解説：誤り。記述は配列の説明である。スタックは後に入れた要素を先に取り出すLIFOのデータ構造。

Q0008

アルゴリズム・データ構造

タグ：スタック

用語：スタックの確認ポイント8：後に入れた要素を先に取り出すLIFOのデータ構造

次の状況で中心となる論点はどれか。「後に入れた要素を先に取り出すLIFOのデータ構造」ことが求められている。

- A. 二分木
- B. スタック
- C. 動的計画法
- D. 配列

答え・解説

Q0008 正答：B. スタック

解説：中心となる論点はスタックである。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0009

アルゴリズム・データ構造

タグ：スタック

用語：スタックの確認ポイント9：後に入れた要素を先に取り出すLIFOのデータ構造

「後に入れた要素を先に取り出すLIFOのデータ構造」という特徴を持つものを選び。

- A. 動的計画法
- B. 二分木
- C. スタック
- D. 配列

答え・解説

Q0009 正答：C. スタック

解説：スタックが該当する。定義は後に入れた要素を先に取り出すLIFOのデータ構造であり、他の候補とは機能が異なる。

Q0010

アルゴリズム・データ構造

タグ：配列

用語：配列の確認ポイント1：同じ型の要素を連続した添字で管理するデータ構造

次の説明に最も合う用語はどれか。同じ型の要素を連続した添字で管理するデータ構造

- A. 連結リスト
- B. 二分探索
- C. 計算量
- D. 配列

答え・解説

Q0010 正答：D. 配列

解説：配列は、同じ型の要素を連続した添字で管理するデータ構造。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0011

アルゴリズム・データ構造

タグ：配列

用語：配列の確認ポイント2：同じ型の要素を連続した添字で管理するデータ構造

配列の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 同じ型の要素を連続した添字で管理するデータ構造
- B. 各要素が次の要素への参照を持つデータ構造
- C. 整列済みデータの探索範囲を半分ずつ絞る探索法
- D. 入力サイズの増加に対する処理時間や記憶量の増え方

答え・解説

Q0011 正答：A. 同じ型の要素を連続した添字で管理するデータ構造

解説：配列の要点は「同じ型の要素を連続した添字で管理するデータ構造」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0012

アルゴリズム・データ構造

タグ：配列

用語：配列の確認ポイント3：同じ型の要素を連続した添字で管理するデータ構造

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「配列」である。

- A. 連結リスト：同じ型の要素を連続した添字で管理するデータ構造
- B. 配列：同じ型の要素を連続した添字で管理するデータ構造
- C. 二分探索：同じ型の要素を連続した添字で管理するデータ構造
- D. 計算量：同じ型の要素を連続した添字で管理するデータ構造

答え・解説

Q0012 正答：B. 配列：同じ型の要素を連続した添字で管理するデータ構造

解説：正しい組合せは「配列：同じ型の要素を連続した添字で管理するデータ構造」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0013

アルゴリズム・データ構造

タグ：配列

用語：配列の確認ポイント4：同じ型の要素を連続した添字で管理するデータ構造

「配列」は、同じ型の要素を連続した添字で管理するデータ構造。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0013 正答：○

解説：正しい。配列は同じ型の要素を連続した添字で管理するデータ構造。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0014

アルゴリズム・データ構造

タグ：配列

用語：配列の確認ポイント5：同じ型の要素を連続した添字で管理するデータ構造

組織が「同じ型の要素を連続した添字で管理するデータ構造」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. 連結リスト
- B. 二分探索
- C. 計算量
- D. 配列

答え・解説

Q0014 正答：D. 配列

解説：この目的に対応するのは配列である。同じ型の要素を連続した添字で管理するデータ構造という機能・考え方を持つためである。

Q0015

アルゴリズム・データ構造

タグ：配列

用語：配列の確認ポイント6：同じ型の要素を連続した添字で管理するデータ構造

「配列」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 同じ型の要素を連続した添字で管理するデータ構造
- B. 入力サイズの増加に対する処理時間や記憶量の増え方
- C. 整列済みデータの探索範囲を半分ずつ絞る探索法
- D. 各要素が次の要素への参照を持つデータ構造

答え・解説

Q0015 正答：A. 同じ型の要素を連続した添字で管理するデータ構造

解説：配列は同じ型の要素を連続した添字で管理するデータ構造。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0016

アルゴリズム・データ構造

タグ：配列

用語：配列の確認ポイント7：同じ型の要素を連続した添字で管理するデータ構造

「配列」は、各要素が次の要素への参照を持つデータ構造。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0016 正答：×

解説：誤り。記述は連結リストの説明である。配列は同じ型の要素を連続した添字で管理するデータ構造。

Q0017

アルゴリズム・データ構造

タグ：配列

用語：配列の確認ポイント8：同じ型の要素を連続した添字で管理するデータ構造

次の状況で中心となる論点はどれか。「同じ型の要素を連続した添字で管理するデータ構造」ことが求められている。

- A. 二分探索
- B. 計算量
- C. 配列
- D. 連結リスト

答え・解説

Q0017 正答：C. 配列

解説：中心となる論点は配列である。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0018

アルゴリズム・データ構造

タグ：配列

用語：配列の確認ポイント9：同じ型の要素を連続した添字で管理するデータ構造

「同じ型の要素を連続した添字で管理するデータ構造」という特徴を持つものを選べ。

- A. 計算量
- B. 二分探索
- C. 連結リスト
- D. 配列

答え・解説

Q0018 正答：D. 配列

解説：配列が該当する。定義は同じ型の要素を連続した添字で管理するデータ構造であり、他の候補とは機能が異なる。

Q0019

アルゴリズム・データ構造

タグ：連結リスト

用語：連結リストの確認ポイント1：各要素が次の要素への参照を持つデータ構造

次の説明に最も合う用語はどれか。各要素が次の要素への参照を持つデータ構造

- A. 連結リスト
- B. 二分木
- C. ハッシュ表
- D. 安定ソート

答え・解説

Q0019 正答：A. 連結リスト

解説：連結リストは、各要素が次の要素への参照を持つデータ構造。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0020

アルゴリズム・データ構造

タグ：連結リスト

用語：連結リストの確認ポイント2：各要素が次の要素への参照を持つデータ構造

連結リストの説明として最も適切なものはどれか。

- A. 各節が最大二つの子を持つ木構造
- B. 各要素が次の要素への参照を持つデータ構造
- C. ハッシュ値を用いて格納位置を求めるデータ構造
- D. 同じキーを持つ要素の元の順序を保つ整列法

答え・解説

Q0020 正答：B. 各要素が次の要素への参照を持つデータ構造

解説：連結リストの要点は「各要素が次の要素への参照を持つデータ構造」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0021

アルゴリズム・データ構造

タグ：連結リスト

用語：連結リストの確認ポイント3：各要素が次の要素への参照を持つデータ構造

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「連結リスト」である。

- A. 二分木：各要素が次の要素への参照を持つデータ構造
- B. ハッシュ表：各要素が次の要素への参照を持つデータ構造
- C. 連結リスト：各要素が次の要素への参照を持つデータ構造
- D. 安定ソート：各要素が次の要素への参照を持つデータ構造

答え・解説

Q0021 正答：C. 連結リスト：各要素が次の要素への参照を持つデータ構造

解説：正しい組合せは「連結リスト：各要素が次の要素への参照を持つデータ構造」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0022

アルゴリズム・データ構造

タグ：連結リスト

用語：連結リストの確認ポイント4：各要素が次の要素への参照を持つデータ構造

「連結リスト」は、各要素が次の要素への参照を持つデータ構造。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0022 正答：○

解説：正しい。連結リストは各要素が次の要素への参照を持つデータ構造。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0023

アルゴリズム・データ構造

タグ：連結リスト

用語：連結リストの確認ポイント5：各要素が次の要素への参照を持つデータ構造

組織が「各要素が次の要素への参照を持つデータ構造」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. 連結リスト
- B. 二分木
- C. ハッシュ表
- D. 安定ソート

答え・解説

Q0023 正答：A. 連結リスト

解説：この目的に対応するのは連結リストである。各要素が次の要素への参照を持つデータ構造という機能・考え方を持つためである。

Q0024

アルゴリズム・データ構造

タグ：連結リスト

用語：連結リストの確認ポイント6：各要素が次の要素への参照を持つデータ構造

「連結リスト」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 同じキーを持つ要素の元の順序を保つ整列法
- B. 各要素が次の要素への参照を持つデータ構造
- C. ハッシュ値を用いて格納位置を求めるデータ構造
- D. 各節が最大二つの子を持つ木構造

答え・解説

Q0024 正答：B. 各要素が次の要素への参照を持つデータ構造

解説：連結リストは各要素が次の要素への参照を持つデータ構造。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0025

アルゴリズム・データ構造

タグ：連結リスト

用語：連結リストの確認ポイント7：各要素が次の要素への参照を持つデータ構造

「連結リスト」は、各節が最大二つの子を持つ木構造。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0025 正答：×

解説：誤り。記述は二分木の説明である。連結リストは各要素が次の要素への参照を持つデータ構造。

Q0026

アルゴリズム・データ構造

タグ：連結リスト

用語：連結リストの確認ポイント8：各要素が次の要素への参照を持つデータ構造

次の状況で中心となる論点はどれか。「各要素が次の要素への参照を持つデータ構造」ことが求められている。

- A. ハッシュ表
- B. 安定ソート
- C. 二分木
- D. 連結リスト

答え・解説

Q0026 正答：D. 連結リスト

解説：中心となる論点は連結リストである。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0027

アルゴリズム・データ構造

タグ：連結リスト

用語：連結リストの確認ポイント9：各要素が次の要素への参照を持つデータ構造

「各要素が次の要素への参照を持つデータ構造」という特徴を持つものを選び。

- A. 連結リスト
- B. 安定ソート
- C. ハッシュ表
- D. 二分木

答え・解説

Q0027 正答：A. 連結リスト

解説：連結リストが該当する。定義は各要素が次の要素への参照を持つデータ構造であり、他の候補とは機能が異なる。

Q0028

アルゴリズム・データ構造

タグ：二分木

用語：二分木の確認ポイント1：各節が最大二つの子を持つ木構造

次の説明に最も合う用語はどれか。各節が最大二つの子を持つ木構造

- A. 二分探索
- B. 二分木
- C. 再帰
- D. スタック

答え・解説

Q0028 正答：B. 二分木

解説：二分木は、各節が最大二つの子を持つ木構造。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0029

アルゴリズム・データ構造

タグ：二分木

用語：二分木の確認ポイント2：各節が最大二つの子を持つ木構造

二分木の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 整列済みデータの探索範囲を半分ずつ絞る探索法
- B. 処理の中から同じ処理をより小さな問題に対して呼び出す方法
- C. 各節が最大二つの子を持つ木構造
- D. 後に入れた要素を先に取り出すLIFOのデータ構造

答え・解説

Q0029 正答：C. 各節が最大二つの子を持つ木構造

解説：二分木の要点は「各節が最大二つの子を持つ木構造」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0030

アルゴリズム・データ構造

タグ：二分木

用語：二分木の確認ポイント3：各節が最大二つの子を持つ木構造

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「二分木」である。

- A. 二分探索：各節が最大二つの子を持つ木構造
- B. 再帰：各節が最大二つの子を持つ木構造
- C. スタック：各節が最大二つの子を持つ木構造
- D. 二分木：各節が最大二つの子を持つ木構造

答え・解説

Q0030 正答：D. 二分木：各節が最大二つの子を持つ木構造

解説：正しい組合せは「二分木：各節が最大二つの子を持つ木構造」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0031

アルゴリズム・データ構造

タグ：二分木

用語：二分木の確認ポイント4：各節が最大二つの子を持つ木構造

「二分木」は、各節が最大二つの子を持つ木構造。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0031 正答：○

解説：正しい。二分木は各節が最大二つの子を持つ木構造。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0032

アルゴリズム・データ構造

タグ：二分木

用語：二分木の確認ポイント5：各節が最大二つの子を持つ木構造

組織が「各節が最大二つの子を持つ木構造」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

A. 二分探索

B. 二分木

C. 再帰

D. スタック

答え・解説

Q0032 正答：B. 二分木

解説：この目的に対応するのは二分木である。各節が最大二つの子を持つ木構造という機能・考え方を持つためである。

Q0033

アルゴリズム・データ構造

タグ：二分木

用語：二分木の確認ポイント6：各節が最大二つの子を持つ木構造

「二分木」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 後に入れた要素を先に取り出すLIFOのデータ構造
- B. 処理の中から同じ処理をより小さな問題に対して呼び出す方法
- C. 各節が最大二つの子を持つ木構造
- D. 整列済みデータの探索範囲を半分ずつ絞る探索法

答え・解説

Q0033 正答：C. 各節が最大二つの子を持つ木構造

解説：二分木は各節が最大二つの子を持つ木構造。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0034

アルゴリズム・データ構造

タグ：二分木

用語：二分木の確認ポイント7：各節が最大二つの子を持つ木構造

「二分木」は、整列済みデータの探索範囲を半分ずつ絞る探索法。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0034 正答：×

解説：誤り。記述は二分探索の説明である。二分木は各節が最大二つの子を持つ木構造。

Q0035

アルゴリズム・データ構造

タグ：二分木

用語：二分木の確認ポイント8：各節が最大二つの子を持つ木構造

次の状況で中心となる論点はどれか。「各節が最大二つの子を持つ木構造」ことが求められている。

- A. 二分木
- B. 再帰
- C. スタック
- D. 二分探索

答え・解説

Q0035 正答：A. 二分木

解説：中心となる論点は二分木である。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0036

アルゴリズム・データ構造

タグ：二分木

用語：二分木の確認ポイント9：各節が最大二つの子を持つ木構造

「各節が最大二つの子を持つ木構造」という特徴を持つものを選び。

- A. スタック
- B. 二分木
- C. 再帰
- D. 二分探索

答え・解説

Q0036 正答：B. 二分木

解説：二分木が該当する。定義は各節が最大二つの子を持つ木構造であり、他の候補とは機能が異なる。

Q0037

アルゴリズム・データ構造

タグ：二分探索

用語：二分探索の確認ポイント1：整列済みデータの探索範囲を半分ずつ絞る探索法

次の説明に最も合う用語はどれか。整列済みデータの探索範囲を半分ずつ絞る探索法

- A. ハッシュ表
- B. 動的計画法
- C. 二分探索
- D. 配列

答え・解説

Q0037 正答：C. 二分探索

解説：二分探索は、整列済みデータの探索範囲を半分ずつ絞る探索法。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0038

アルゴリズム・データ構造

タグ：二分探索

用語：二分探索の確認ポイント2：整列済みデータの探索範囲を半分ずつ絞る探索法

二分探索の説明として最も適切なものはどれか。

- A. ハッシュ値を用いて格納位置を求めるデータ構造
- B. 部分問題の結果を保存して重複計算を避ける方法
- C. 同じ型の要素を連続した添字で管理するデータ構造
- D. 整列済みデータの探索範囲を半分ずつ絞る探索法

答え・解説

Q0038 正答：D. 整列済みデータの探索範囲を半分ずつ絞る探索法

解説：二分探索の要点は「整列済みデータの探索範囲を半分ずつ絞る探索法」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0039

アルゴリズム・データ構造

タグ：二分探索

用語：二分探索の確認ポイント3：整列済みデータの探索範囲を半分ずつ絞る探索法

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「二分探索」である。

- A. 二分探索：整列済みデータの探索範囲を半分ずつ絞る探索法
- B. ハッシュ表：整列済みデータの探索範囲を半分ずつ絞る探索法
- C. 動的計画法：整列済みデータの探索範囲を半分ずつ絞る探索法
- D. 配列：整列済みデータの探索範囲を半分ずつ絞る探索法

答え・解説

Q0039 正答：A. 二分探索：整列済みデータの探索範囲を半分ずつ絞る探索法

解説：正しい組合せは「二分探索：整列済みデータの探索範囲を半分ずつ絞る探索法」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0040

アルゴリズム・データ構造

タグ：二分探索

用語：二分探索の確認ポイント4：整列済みデータの探索範囲を半分ずつ絞る探索法

「二分探索」は、整列済みデータの探索範囲を半分ずつ絞る探索法。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0040 正答：○

解説：正しい。二分探索は整列済みデータの探索範囲を半分ずつ絞る探索法。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0041

アルゴリズム・データ構造

タグ：二分探索

用語：二分探索の確認ポイント5：整列済みデータの探索範囲を半分ずつ絞る探索法

組織が「整列済みデータの探索範囲を半分ずつ絞る探索法」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. ハッシュ表
- B. 動的計画法
- C. 二分探索
- D. 配列

答え・解説

Q0041 正答：C. 二分探索

解説：この目的に対応するのは二分探索である。整列済みデータの探索範囲を半分ずつ絞る探索法という機能・考え方を持つためである。

Q0042

アルゴリズム・データ構造

タグ：二分探索

用語：二分探索の確認ポイント6：整列済みデータの探索範囲を半分ずつ絞る探索法

「二分探索」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 同じ型の要素を連続した添字で管理するデータ構造
- B. 部分問題の結果を保存して重複計算を避ける方法
- C. ハッシュ値を用いて格納位置を求めるデータ構造
- D. 整列済みデータの探索範囲を半分ずつ絞る探索法

答え・解説

Q0042 正答：D. 整列済みデータの探索範囲を半分ずつ絞る探索法

解説：二分探索は整列済みデータの探索範囲を半分ずつ絞る探索法。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0043

アルゴリズム・データ構造

タグ：二分探索

用語：二分探索の確認ポイント7：整列済みデータの探索範囲を半分ずつ絞る探索法

「二分探索」は、ハッシュ値を用いて格納位置を求めるデータ構造。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0043 正答：×

解説：誤り。記述はハッシュ表の説明である。二分探索は整列済みデータの探索範囲を半分ずつ絞る探索法。

Q0044

アルゴリズム・データ構造

タグ：二分探索

用語：二分探索の確認ポイント8：整列済みデータの探索範囲を半分ずつ絞る探索法

次の状況で中心となる論点はどれか。「整列済みデータの探索範囲を半分ずつ絞る探索法」ことが求められている。

A. 動的計画法

B. 二分探索

C. 配列

D. ハッシュ表

答え・解説

Q0044 正答：B. 二分探索

解説：中心となる論点は二分探索である。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0045

アルゴリズム・データ構造

タグ：二分探索

用語：二分探索の確認ポイント9：整列済みデータの探索範囲を半分ずつ絞る探索法

「整列済みデータの探索範囲を半分ずつ絞る探索法」という特徴を持つものを選び。

- A. 配列
- B. 動的計画法
- C. 二分探索
- D. ハッシュ表

答え・解説

Q0045 正答：C. 二分探索

解説：二分探索が該当する。定義は整列済みデータの探索範囲を半分ずつ絞る探索法であり、他の候補とは機能が異なる。

Q0046

アルゴリズム・データ構造

タグ：ハッシュ表

用語：ハッシュ表の確認ポイント1：ハッシュ値を用いて格納位置を求めるデータ構造

次の説明に最も合う用語はどれか。ハッシュ値を用いて格納位置を求めるデータ構造

- A. 再帰
- B. 計算量
- C. 連結リスト
- D. ハッシュ表

答え・解説

Q0046 正答：D. ハッシュ表

解説：ハッシュ表は、ハッシュ値を用いて格納位置を求めるデータ構造。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0047

アルゴリズム・データ構造

タグ：ハッシュ表

用語：ハッシュ表の確認ポイント2：ハッシュ値を用いて格納位置を求めるデータ構造

ハッシュ表の説明として最も適切なものはどれか。

- A. ハッシュ値を用いて格納位置を求めるデータ構造
- B. 処理の中から同じ処理をより小さな問題に対して呼び出す方法
- C. 入力サイズの増加に対する処理時間や記憶量の増え方
- D. 各要素が次の要素への参照を持つデータ構造

答え・解説

Q0047 正答：A. ハッシュ値を用いて格納位置を求めるデータ構造

解説：ハッシュ表の要点は「ハッシュ値を用いて格納位置を求めるデータ構造」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0048

アルゴリズム・データ構造

タグ：ハッシュ表

用語：ハッシュ表の確認ポイント3：ハッシュ値を用いて格納位置を求めるデータ構造

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「ハッシュ表」である。

- A. 再帰：ハッシュ値を用いて格納位置を求めるデータ構造
- B. ハッシュ表：ハッシュ値を用いて格納位置を求めるデータ構造
- C. 計算量：ハッシュ値を用いて格納位置を求めるデータ構造
- D. 連結リスト：ハッシュ値を用いて格納位置を求めるデータ構造

答え・解説

Q0048 正答：B. ハッシュ表：ハッシュ値を用いて格納位置を求めるデータ構造

解説：正しい組合せは「ハッシュ表：ハッシュ値を用いて格納位置を求めるデータ構造」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0049

アルゴリズム・データ構造

タグ：ハッシュ表

用語：ハッシュ表の確認ポイント4：ハッシュ値を用いて格納位置を求めるデータ構造

「ハッシュ表」は、ハッシュ値を用いて格納位置を求めるデータ構造。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0049 正答：○

解説：正しい。ハッシュ表はハッシュ値を用いて格納位置を求めるデータ構造。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0050

アルゴリズム・データ構造

タグ：ハッシュ表

用語：ハッシュ表の確認ポイント5：ハッシュ値を用いて格納位置を求めるデータ構造

組織が「ハッシュ値を用いて格納位置を求めるデータ構造」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. 再帰
- B. 計算量
- C. 連結リスト
- D. ハッシュ表

答え・解説

Q0050 正答：D. ハッシュ表

解説：この目的に対応するのはハッシュ表である。ハッシュ値を用いて格納位置を求めるデータ構造という機能・考え方を持つためである。

Q0051

アルゴリズム・データ構造

タグ：ハッシュ表

用語：ハッシュ表の確認ポイント6：ハッシュ値を用いて格納位置を求めるデータ構造

「ハッシュ表」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. ハッシュ値を用いて格納位置を求めるデータ構造
- B. 各要素が次の要素への参照を持つデータ構造
- C. 入力サイズの増加に対する処理時間や記憶量の増え方
- D. 処理の中から同じ処理をより小さな問題に対して呼び出す方法

答え・解説

Q0051 正答：A. ハッシュ値を用いて格納位置を求めるデータ構造

解説：ハッシュ表はハッシュ値を用いて格納位置を求めるデータ構造。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0052

アルゴリズム・データ構造

タグ：ハッシュ表

用語：ハッシュ表の確認ポイント7：ハッシュ値を用いて格納位置を求めるデータ構造

「ハッシュ表」は、処理の中から同じ処理をより小さな問題に対して呼び出す方法。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0052 正答：×

解説：誤り。記述は再帰の説明である。ハッシュ表はハッシュ値を用いて格納位置を求めるデータ構造。

Q0053

アルゴリズム・データ構造

タグ：ハッシュ表

用語：ハッシュ表の確認ポイント8：ハッシュ値を用いて格納位置を求めるデータ構造

次の状況で中心となる論点はどれか。「ハッシュ値を用いて格納位置を求めるデータ構造」ことが求められている。

- A. 計算量
- B. 連結リスト
- C. ハッシュ表
- D. 再帰

答え・解説

Q0053 正答：C. ハッシュ表

解説：中心となる論点はハッシュ表である。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0054

アルゴリズム・データ構造

タグ：ハッシュ表

用語：ハッシュ表の確認ポイント9：ハッシュ値を用いて格納位置を求めるデータ構造

「ハッシュ値を用いて格納位置を求めるデータ構造」という特徴を持つものを選べ。

- A. 連結リスト
- B. 計算量
- C. 再帰
- D. ハッシュ表

答え・解説

Q0054 正答：D. ハッシュ表

解説：ハッシュ表が該当する。定義はハッシュ値を用いて格納位置を求めるデータ構造であり、他の候補とは機能が異なる。

Q0055

アルゴリズム・データ構造

タグ：再帰

用語：再帰の確認ポイント1：処理の中から同じ処理をより小さな問題に対して呼び出す方法

次の説明に最も合う用語はどれか。処理の中から同じ処理をより小さな問題に対して呼び出す方法

- A. 再帰
- B. 動的計画法
- C. 安定ソート
- D. 二分木

答え・解説

Q0055 正答：A. 再帰

解説：再帰は、処理の中から同じ処理をより小さな問題に対して呼び出す方法。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0056

アルゴリズム・データ構造

タグ：再帰

用語：再帰の確認ポイント2：処理の中から同じ処理をより小さな問題に対して呼び出す方法

再帰の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 部分問題の結果を保存して重複計算を避ける方法
- B. 処理の中から同じ処理をより小さな問題に対して呼び出す方法
- C. 同じキーを持つ要素の元の順序を保つ整列法
- D. 各節が最大二つの子を持つ木構造

答え・解説

Q0056 正答：B. 処理の中から同じ処理をより小さな問題に対して呼び出す方法

解説：再帰の要点は「処理の中から同じ処理をより小さな問題に対して呼び出す方法」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0057

アルゴリズム・データ構造

タグ：再帰

用語：再帰の確認ポイント3：処理の中から同じ処理をより小さな問題に対して呼び出す方法

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「再帰」である。

- A. 動的計画法：処理の中から同じ処理をより小さな問題に対して呼び出す方法
- B. 安定ソート：処理の中から同じ処理をより小さな問題に対して呼び出す方法
- C. 再帰：処理の中から同じ処理をより小さな問題に対して呼び出す方法
- D. 二分木：処理の中から同じ処理をより小さな問題に対して呼び出す方法

答え・解説

Q0057 正答：C. 再帰：処理の中から同じ処理をより小さな問題に対して呼び出す方法

解説：正しい組合せは「再帰：処理の中から同じ処理をより小さな問題に対して呼び出す方法」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0058

アルゴリズム・データ構造

タグ：再帰

用語：再帰の確認ポイント4：処理の中から同じ処理をより小さな問題に対して呼び出す方法

「再帰」は、処理の中から同じ処理をより小さな問題に対して呼び出す方法。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0058 正答：○

解説：正しい。再帰は処理の中から同じ処理をより小さな問題に対して呼び出す方法。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0059

アルゴリズム・データ構造

タグ：再帰

用語：再帰の確認ポイント5：処理の中から同じ処理をより小さな問題に対して呼び出す方法

組織が「処理の中から同じ処理をより小さな問題に対して呼び出す方法」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. 再帰
- B. 動的計画法
- C. 安定ソート
- D. 二分木

答え・解説

Q0059 正答：A. 再帰

解説：この目的に対応するのは再帰である。処理の中から同じ処理をより小さな問題に対して呼び出す方法という機能・考え方を持つためである。

Q0060

アルゴリズム・データ構造

タグ：再帰

用語：再帰の確認ポイント6：処理の中から同じ処理をより小さな問題に対して呼び出す方法

「再帰」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 各節が最大二つの子を持つ木構造
- B. 処理の中から同じ処理をより小さな問題に対して呼び出す方法
- C. 同じキーを持つ要素の元の順序を保つ整列法
- D. 部分問題の結果を保存して重複計算を避ける方法

答え・解説

Q0060 正答：B. 処理の中から同じ処理をより小さな問題に対して呼び出す方法

解説：再帰は処理の中から同じ処理をより小さな問題に対して呼び出す方法。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0061

アルゴリズム・データ構造

タグ：再帰

用語：再帰の確認ポイント7：処理の中から同じ処理をより小さな問題に対して呼び出す方法

「再帰」は、部分問題の結果を保存して重複計算を避ける方法。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0061 正答：×

解説：誤り。記述は動的計画法の説明である。再帰は処理の中から同じ処理をより小さな問題に対して呼び出す方法。

Q0062

アルゴリズム・データ構造

タグ：再帰

用語：再帰の確認ポイント8：処理の中から同じ処理をより小さな問題に対して呼び出す方法

次の状況で中心となる論点はどれか。「処理の中から同じ処理をより小さな問題に対して呼び出す方法」ことが求められている。

A. 安定ソート

B. 二分木

C. 動的計画法

D. 再帰

答え・解説

Q0062 正答：D. 再帰

解説：中心となる論点は再帰である。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0063

アルゴリズム・データ構造

タグ：再帰

用語：再帰の確認ポイント9：処理の中から同じ処理をより小さな問題に対して呼び出す方法

「処理の中から同じ処理をより小さな問題に対して呼び出す方法」という特徴を持つものを選べ。

- A. 再帰
- B. 二分木
- C. 安定ソート
- D. 動的計画法

答え・解説

Q0063 正答：A. 再帰

解説：再帰が該当する。定義は処理の中から同じ処理をより小さな問題に対して呼び出す方法であり、他の候補とは機能が異なる。

Q0064

アルゴリズム・データ構造

タグ：動的計画法

用語：動的計画法の確認ポイント1：部分問題の結果を保存して重複計算を避ける方法

次の説明に最も合う用語はどれか。部分問題の結果を保存して重複計算を避ける方法

- A. 計算量
- B. 動的計画法
- C. スタック
- D. 二分探索

答え・解説

Q0064 正答：B. 動的計画法

解説：動的計画法は、部分問題の結果を保存して重複計算を避ける方法。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0065

アルゴリズム・データ構造

タグ：動的計画法

用語：動的計画法の確認ポイント2：部分問題の結果を保存して重複計算を避ける方法

動的計画法の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 入力サイズの増加に対する処理時間や記憶量の増え方
- B. 後に入れた要素を先に取り出すLIFOのデータ構造
- C. 部分問題の結果を保存して重複計算を避ける方法
- D. 整列済みデータの探索範囲を半分ずつ絞る探索法

答え・解説

Q0065 正答：C. 部分問題の結果を保存して重複計算を避ける方法

解説：動的計画法の要点は「部分問題の結果を保存して重複計算を避ける方法」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0066

アルゴリズム・データ構造

タグ：動的計画法

用語：動的計画法の確認ポイント3：部分問題の結果を保存して重複計算を避ける方法

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「動的計画法」である。

- A. 計算量：部分問題の結果を保存して重複計算を避ける方法
- B. スタック：部分問題の結果を保存して重複計算を避ける方法
- C. 二分探索：部分問題の結果を保存して重複計算を避ける方法
- D. 動的計画法：部分問題の結果を保存して重複計算を避ける方法

答え・解説

Q0066 正答：D. 動的計画法：部分問題の結果を保存して重複計算を避ける方法

解説：正しい組合せは「動的計画法：部分問題の結果を保存して重複計算を避ける方法」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0067

アルゴリズム・データ構造

タグ：動的計画法

用語：動的計画法の確認ポイント4：部分問題の結果を保存して重複計算を避ける方法

「動的計画法」は、部分問題の結果を保存して重複計算を避ける方法。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0067 正答：○

解説：正しい。動的計画法は部分問題の結果を保存して重複計算を避ける方法。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0068

アルゴリズム・データ構造

タグ：動的計画法

用語：動的計画法の確認ポイント5：部分問題の結果を保存して重複計算を避ける方法

組織が「部分問題の結果を保存して重複計算を避ける方法」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. 計算量
- B. 動的計画法
- C. スタック
- D. 二分探索

答え・解説

Q0068 正答：B. 動的計画法

解説：この目的に対応するのは動的計画法である。部分問題の結果を保存して重複計算を避ける方法という機能・考え方を持つためである。

Q0069

アルゴリズム・データ構造

タグ：動的計画法

用語：動的計画法の確認ポイント6：部分問題の結果を保存して重複計算を避ける方法

「動的計画法」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 整列済みデータの探索範囲を半分ずつ絞る探索法
- B. 後に入れた要素を先に取り出すLIFOのデータ構造
- C. 部分問題の結果を保存して重複計算を避ける方法
- D. 入力サイズの増加に対する処理時間や記憶量の増え方

答え・解説

Q0069 正答：C. 部分問題の結果を保存して重複計算を避ける方法

解説：動的計画法は部分問題の結果を保存して重複計算を避ける方法。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0070

アルゴリズム・データ構造

タグ：動的計画法

用語：動的計画法の確認ポイント7：部分問題の結果を保存して重複計算を避ける方法

「動的計画法」は、入力サイズの増加に対する処理時間や記憶量の増え方。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0070 正答：×

解説：誤り。記述は計算量の説明である。動的計画法は部分問題の結果を保存して重複計算を避ける方法。

Q0071

アルゴリズム・データ構造

タグ：動的計画法

用語：動的計画法の確認ポイント8：部分問題の結果を保存して重複計算を避ける方法

次の状況で中心となる論点はどれか。「部分問題の結果を保存して重複計算を避ける方法」ことが求められている。

- A. 動的計画法
- B. スタック
- C. 二分探索
- D. 計算量

答え・解説

Q0071 正答：A. 動的計画法

解説：中心となる論点は動的計画法である。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0072

アルゴリズム・データ構造

タグ：動的計画法

用語：動的計画法の確認ポイント9：部分問題の結果を保存して重複計算を避ける方法

「部分問題の結果を保存して重複計算を避ける方法」という特徴を持つものを選び。

- A. 二分探索
- B. 動的計画法
- C. スタック
- D. 計算量

答え・解説

Q0072 正答：B. 動的計画法

解説：動的計画法が該当する。定義は部分問題の結果を保存して重複計算を避ける方法であり、他の候補とは機能が異なる。

Q0073

アルゴリズム・データ構造

タグ：計算量

用語：計算量の確認ポイント1：入力サイズの増加に対する処理時間や記憶量の増え方

次の説明に最も合う用語はどれか。入力サイズの増加に対する処理時間や記憶量の増え方

- A. 安定ソート
- B. 配列
- C. 計算量
- D. ハッシュ表

答え・解説

Q0073 正答：C. 計算量

解説：計算量は、入力サイズの増加に対する処理時間や記憶量の増え方。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0074

アルゴリズム・データ構造

タグ：計算量

用語：計算量の確認ポイント2：入力サイズの増加に対する処理時間や記憶量の増え方

計算量の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 同じキーを持つ要素の元の順序を保つ整列法
- B. 同じ型の要素を連続した添字で管理するデータ構造
- C. ハッシュ値を用いて格納位置を求めるデータ構造
- D. 入力サイズの増加に対する処理時間や記憶量の増え方

答え・解説

Q0074 正答：D. 入力サイズの増加に対する処理時間や記憶量の増え方

解説：計算量の要点は「入力サイズの増加に対する処理時間や記憶量の増え方」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0075

アルゴリズム・データ構造

タグ：計算量

用語：計算量の確認ポイント3：入力サイズの増加に対する処理時間や記憶量の増え方

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「計算量」である。

- A. 計算量：入力サイズの増加に対する処理時間や記憶量の増え方
- B. 安定ソート：入力サイズの増加に対する処理時間や記憶量の増え方
- C. 配列：入力サイズの増加に対する処理時間や記憶量の増え方
- D. ハッシュ表：入力サイズの増加に対する処理時間や記憶量の増え方

答え・解説

Q0075 正答：A. 計算量：入力サイズの増加に対する処理時間や記憶量の増え方

解説：正しい組合せは「計算量：入力サイズの増加に対する処理時間や記憶量の増え方」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0076

アルゴリズム・データ構造

タグ：計算量

用語：計算量の確認ポイント4：入力サイズの増加に対する処理時間や記憶量の増え方

「計算量」は、入力サイズの増加に対する処理時間や記憶量の増え方。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0076 正答：○

解説：正しい。計算量は入力サイズの増加に対する処理時間や記憶量の増え方。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0077

アルゴリズム・データ構造

タグ：計算量

用語：計算量の確認ポイント5：入力サイズの増加に対する処理時間や記憶量の増え方

組織が「入力サイズの増加に対する処理時間や記憶量の増え方」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. 安定ソート
- B. 配列
- C. 計算量
- D. ハッシュ表

答え・解説

Q0077 正答：C. 計算量

解説：この目的に対応するのは計算量である。入力サイズの増加に対する処理時間や記憶量の増え方という機能・考え方を持つためである。

Q0078

アルゴリズム・データ構造

タグ：計算量

用語：計算量の確認ポイント6：入力サイズの増加に対する処理時間や記憶量の増え方

「計算量」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. ハッシュ値を用いて格納位置を求めるデータ構造
- B. 同じ型の要素を連続した添字で管理するデータ構造
- C. 同じキーを持つ要素の元の順序を保つ整列法
- D. 入力サイズの増加に対する処理時間や記憶量の増え方

答え・解説

Q0078 正答：D. 入力サイズの増加に対する処理時間や記憶量の増え方

解説：計算量は入力サイズの増加に対する処理時間や記憶量の増え方。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0079

アルゴリズム・データ構造

タグ：計算量

用語：計算量の確認ポイント7：入力サイズの増加に対する処理時間や記憶量の増え方

「計算量」は、同じキーを持つ要素の元の順序を保つ整列法。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0079 正答：×

解説：誤り。記述は安定ソートの説明である。計算量は入力サイズの増加に対する処理時間や記憶量の増え方。

Q0080

アルゴリズム・データ構造

タグ：計算量

用語：計算量の確認ポイント8：入力サイズの増加に対する処理時間や記憶量の増え方

次の状況で中心となる論点はどれか。「入力サイズの増加に対する処理時間や記憶量の増え方」ことが求められている。

A. 配列

B. 計算量

C. ハッシュ表

D. 安定ソート

答え・解説

Q0080 正答：B. 計算量

解説：中心となる論点は計算量である。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0081

アルゴリズム・データ構造

タグ：計算量

用語：計算量の確認ポイント9：入力サイズの増加に対する処理時間や記憶量の増え方

「入力サイズの増加に対する処理時間や記憶量の増え方」という特徴を持つものを選べ。

- A. ハッシュ表
- B. 配列
- C. 計算量
- D. 安定ソート

答え・解説

Q0081 正答：C. 計算量

解説：計算量が該当する。定義は入力サイズの増加に対する処理時間や記憶量の増え方であり、他の候補とは機能が異なる。

Q0082

アルゴリズム・データ構造

タグ：安定ソート

用語：安定ソートの確認ポイント1：同じキーを持つ要素の元の順序を保つ整列法

次の説明に最も合う用語はどれか。同じキーを持つ要素の元の順序を保つ整列法

- A. スタック
- B. 連結リスト
- C. 再帰
- D. 安定ソート

答え・解説

Q0082 正答：D. 安定ソート

解説：安定ソートは、同じキーを持つ要素の元の順序を保つ整列法。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0083

アルゴリズム・データ構造

タグ：安定ソート

用語：安定ソートの確認ポイント2：同じキーを持つ要素の元の順序を保つ整列法

安定ソートの説明として最も適切なものはどれか。

- A. 同じキーを持つ要素の元の順序を保つ整列法
- B. 後に入れた要素を先に取り出すLIFOのデータ構造
- C. 各要素が次の要素への参照を持つデータ構造
- D. 処理の中から同じ処理をより小さな問題に対して呼び出す方法

答え・解説

Q0083 正答：A. 同じキーを持つ要素の元の順序を保つ整列法

解説：安定ソートの要点は「同じキーを持つ要素の元の順序を保つ整列法」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0084

アルゴリズム・データ構造

タグ：安定ソート

用語：安定ソートの確認ポイント3：同じキーを持つ要素の元の順序を保つ整列法

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「安定ソート」である。

- A. スタック：同じキーを持つ要素の元の順序を保つ整列法
- B. 安定ソート：同じキーを持つ要素の元の順序を保つ整列法
- C. 連結リスト：同じキーを持つ要素の元の順序を保つ整列法
- D. 再帰：同じキーを持つ要素の元の順序を保つ整列法

答え・解説

Q0084 正答：B. 安定ソート：同じキーを持つ要素の元の順序を保つ整列法

解説：正しい組合せは「安定ソート：同じキーを持つ要素の元の順序を保つ整列法」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0085

アルゴリズム・データ構造

タグ：安定ソート

用語：安定ソートの確認ポイント4：同じキーを持つ要素の元の順序を保つ整列法

「安定ソート」は、同じキーを持つ要素の元の順序を保つ整列法。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0085 正答：○

解説：正しい。安定ソートは同じキーを持つ要素の元の順序を保つ整列法。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0086

アルゴリズム・データ構造

タグ：安定ソート

用語：安定ソートの確認ポイント5：同じキーを持つ要素の元の順序を保つ整列法

組織が「同じキーを持つ要素の元の順序を保つ整列法」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. スタック
- B. 連結リスト
- C. 再帰
- D. 安定ソート

答え・解説

Q0086 正答：D. 安定ソート

解説：この目的に対応するのは安定ソートである。同じキーを持つ要素の元の順序を保つ整列法という機能・考え方を持つためである。

Q0087

アルゴリズム・データ構造

タグ：安定ソート

用語：安定ソートの確認ポイント6：同じキーを持つ要素の元の順序を保つ整列法

「安定ソート」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 同じキーを持つ要素の元の順序を保つ整列法
- B. 処理の中から同じ処理をより小さな問題に対して呼び出す方法
- C. 各要素が次の要素への参照を持つデータ構造
- D. 後に入れた要素を先に取り出すLIFOのデータ構造

答え・解説

Q0087 正答：A. 同じキーを持つ要素の元の順序を保つ整列法

解説：安定ソートは同じキーを持つ要素の元の順序を保つ整列法。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0088

アルゴリズム・データ構造

タグ：安定ソート

用語：安定ソートの確認ポイント7：同じキーを持つ要素の元の順序を保つ整列法

「安定ソート」は、後に入れた要素を先に取り出すLIFOのデータ構造。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0088 正答：×

解説：誤り。記述はスタックの説明である。安定ソートは同じキーを持つ要素の元の順序を保つ整列法。

Q0089

アルゴリズム・データ構造

タグ：安定ソート

用語：安定ソートの確認ポイント8：同じキーを持つ要素の元の順序を保つ整列法

次の状況で中心となる論点はどれか。「同じキーを持つ要素の元の順序を保つ整列法」ことが求められている。

- A. 連結リスト
- B. 再帰
- C. 安定ソート
- D. スタック

答え・解説

Q0089 正答：C. 安定ソート

解説：中心となる論点は安定ソートである。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0090

アルゴリズム・データ構造

タグ：安定ソート

用語：安定ソートの確認ポイント9：同じキーを持つ要素の元の順序を保つ整列法

「同じキーを持つ要素の元の順序を保つ整列法」という特徴を持つものを選び。

- A. 再帰
- B. 連結リスト
- C. スタック
- D. 安定ソート

答え・解説

Q0090 正答：D. 安定ソート

解説：安定ソートが該当する。定義は同じキーを持つ要素の元の順序を保つ整列法であり、他の候補とは機能が異なる。